

腎臓内科

統括診療部長 太田 康介
腎臓内科医長 北川 正史

● 診療科の特色

腎疾患にかかわる分野全般の診療を行います。検診での検尿や腎機能異常の精査、慢性腎臓病の診断やステージに応じた治療、急性腎障害の診断治療、透析導入(血液透析、腹膜透析)などです。また各種疾患(糖尿病、膠原病など)における腎臓の合併症の診療にもあたります。さらには、慢性透析患者の当院各科入院治療中の透析治療を行っています。腎移植治療の術前管理や術後の長期管理など参画しています。

診療担当は常勤医師 3 名、専攻医 1 名(卒後 3 年目)と、ローテート医師(専攻医 1、2 年、初期研修医)です。

● 入院診療実績

1. 主要入院患者数 年間入院患者数 264 名

	疾患	患者数
1	保存期慢性腎臓病 (うち DKD)	78 (20)
2	血液透析 (うち DKD) 導入 (うち DKD)	50 (23) 27 (9)
3	腹膜透析 (うち DKD) 導入 (うち DKD)	27 (10) 6 (1)
4	慢性糸球体腎炎	25
5	急性腎障害	21
6	ネフローゼ症候群	21
7	ANCA 関連血管炎	19
8	COVID-19	13
9	電解質異常	4
10	尿細管間質性腎炎	3
11	HD+PD 併用	1
12	その他	2

※DKD:糖尿病関連腎臓病

※ネフローゼ症候群、ANCA 関連血管炎には、繰り返しのリツキシマブ投与含む(院内転科例含む)

死亡退院 9 例 : 誤嚥性肺炎 2 例、心不全 2 例、呼吸不全 1 例、間質性肺炎 1 例、
敗血症 1 例、膿胸 1 例、末期腎不全 1 例

2. その他

1) 検査

a) 腎生検施行(当科施行件数)43 例(延べ数)

IgA 腎症 13 例、良性腎硬化症 7 例、一次性膜性腎症 3 例、微小変化型ネフローゼ症候群 3 例、血管炎 3 例(ANCA 関連血管炎 2 例、半月体形成性糸球体腎炎 1 例)、尿細管間質性腎炎 2 例、巣状分節性糸球体硬化症 1 例、微小糸球体変化 1 例、ループス腎炎 1 例、IgG4 関連腎臓病 1 例、足細胞陥入糸球体症 1 例、腎アミロイドーシス 1 例、糖尿病性糸球体硬化症 1 例、溶連菌感染後腎炎 1 例

b) 腎生検診断

成人の腎生検組織(腎臓内科・腎移植外科など)の評価を臨床検査科・当該科と共に行っています。

2) 治療(入院治療患者数:新規開始ないし再開、患者ベースの例数)

a) 慢性糸球体腎炎、ネフローゼ症候群、急速進行性糸球体腎炎、膠原病に伴う腎疾患

- 副腎皮質ステロイド 42 例、IgA 腎症に対する扁桃腺摘出後ステロイドパルス 6 例、シクロスポリン 3 例、リツキシマブ 25 例(ネフローゼ症候群 11 例、顕微鏡的多発血管炎 14 例)
- b) 慢性腎臓病(CKD)患者診療
外来では透析や移植に至っていないすべてのステージの CKD 患者、入院では主に CKD ステージ G4~G5 患者の評価・治療・療法選択などを行っています。
- c) 血液透析
7A 透析室にて入院患者のみを対象。月水金、午前・午後、火木土午前の計 3 クール。
コンソール 5 台。通常 15 名受入可能。1 クール定員 5 名で運用。
令和 6 年度入院血液透析患者数 307 例(2025/4/1 時点の入院を含む)
のべ透析回数 2208 回(7A 透析センターにて。病室、CCU での血液透析は除く)。
(詳細は透析センターの頁をご参照ください)
- d) 腹膜透析: 外来患者 29 名(そのうち PD/HD 併用は 8 名)
外来患者は専門外来にて管理しています。
導入 5 名、離脱 1 名(HD 変更、転医)
腹膜透析患者入院 31 名(導入、内科・外科治療など)
- e) 膠原病に伴う腎疾患
ANCA 関連血管炎や IgG4 関連腎臓病、ループス腎炎合計 20 名

● 研究業績

論文

- 1) 向田 夏伽理
リステリア髄膜炎に重症心不全を合併したが救命し得た腎移植後患者の一例
岡山医療センター 年報 2025 年 3 月 24 日
- 2) 黒田 純
透析非導入から導入へ療法選択変更となった慢性腎臓病の 1 例
岡山医療センター 年報 2025 年 3 月 24 日

学会発表

- 1) SLE 経過中に抗 GBM 抗体型腎炎を発症した一例
井上 義隆
第 69 回日本透析医学会学術集会・総会 2024 年 6 月 7 日
- 2) 加速型悪性高血圧 8 例の臨床病理学的検討
北川 正史
第 67 回日本腎臓学会学術総会 2024 年 6 月 28 日
- 3) ワーファリン継続しながらのステロイド治療が有用であったワーファリン腎症と考えられた一例
太田 康介
第 54 回日本腎臓学会西部学術大会 2024 年 10 月 5 日
- 4) 抗セントロメア抗体陽性で急性尿細管間質性腎炎を呈した一例
木村 祐理子
第 54 回日本腎臓学会西部学術大会 2024 年 10 月 5 日
- 5) 左室駆出率低下を伴う心不全を契機に診断された感染後糸球体腎炎の一例
永井 詩織
第 54 回日本腎臓学会西部学術大会 2024 年 10 月 6 日
- 6) IgG4 高値、好酸球増多を伴いびまん性半月体形成を認めた顕微鏡的多発血管炎の一例
柿内 美槻
第 54 回日本腎臓学会西部学術大会 2024 年 10 月 6 日
- 7) 岡山医療センターにおける内科専門研修プログラムの現状と課題
太田 康介
第 78 回国立病院総合医学会 2024 年 10 月 6 日
- 8) 小児腎移植前後での児の知能指数の変化についての検討
永井 詩織
第 45 回日本小児腎不全学会学術集会 2024 年 12 月 6 日

- | | |
|--|-----------------|
| 9) 半月体形成性 IgA 腎症による末期腎不全に生体腎移植を施行した一例
北川 正史
第 58 回日本臨床腎移植学会 | 2025 年 2 月 6 日 |
| 10) 細菌性髄膜炎の治療中にセフトリアキソン脳症が疑われた透析患者の一例
道満 啓
第 52 回日本集中治療医学会学術集会 | 2025 年 3 月 15 日 |

講演、研究会

- | | |
|--|------------------|
| 1) 透析医部会講演会～透析リン管理の next stage～
太田 康介 | 2024 年 4 月 16 日 |
| 2) 腎性貧血治療 update seminar
太田 康介 | 2024 年 7 月 26 日 |
| 3) 真庭市医師会学術講演会
北川 正史 | 2024 年 10 月 16 日 |
| 4) 第 87 回岡山腎疾患懇話会役員会
太田 康介 | 2024 年 10 月 19 日 |
| 5) 第 87 回岡山腎疾患懇話会
井原 康人 | 2024 年 10 月 19 日 |
| 6) 松永沼隈地区医師会学術講演会
太田 康介 | 2024 年 10 月 31 日 |
| 7) 第 33 回糖尿病性腎症セミナー
太田 康介 | 2025 年 2 月 19 日 |

座長

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1) CKD と栄養を考える会
太田 康介 | 2024 年 4 月 4 日 |
|--------------------------|----------------|